

視聴覚教育

NO. 295
発行日 15.9.8
発行 岡崎市AVL
編集 現職教育委員会
学習情報部

視聴覚用語
ワーム「worm」
ネットワークで接続されたコンピュータ間を自己複製しながら移動するプログラム。ここめきまわるので「ミミズ」に例えて「ワーム」と呼ぶ。ネットワークに大きな負荷をかけ、ネットワークを使用不能にする。ブルスタームもこの一種。

夏期実技講習会報告

VTR実技講習会

7月26日(土)
於 福祉会館

初級コースに社会教育関係者名10名、学校教育関係者5名、中級コースに社会教育関係者6名、学校教育関係者3名、計24名の参加を得て行いました。本年度は土曜日に講習を開催したため、社会教育関係者を中心に昨年度よりも多くの方に受講していただくことができました。

初級コースでは、デジタルビデオカメラを用いた基本的な撮影方法について実習しました。中級コースでは、持ち寄った映像をもとにノンリニア編集に取り組み、作品に仕上げることができました。



校内放送講習会

8月4日(月)
於 情報ネットワークセンター
市内の小中学校から、放送担当の児童生徒と

教師、計162名の参加を得て行われました。ケーブルテレビのサテライトスタジオより、大門小学校の児童と六ツ美北中学校の生徒が校内放送(お昼の放送)の様子を再現しました。

また昨年に引き続き、東海ラジオアナウンサーの村上和宏さんが、アナウンスの楽しさと技術についての講演と実技指導をしてください、臨場感あふれる講習会となりました。

パソコン関係講習会
・教科領域基礎講習会
(HTMLによる教材作成) 8月5日(火)
於 小豆坂小学校・六名小学校

2会場に分かれ、計70名の学校教育関係者の参加を得て行いました。「ハイパーキューブネットジュニア2」の「キューブページ」を利用したHTML教材作成を行い、学校のホームページの制作に必要な知識と技術を学びました。



・パソコン導入校学習ソフト運用講習会

7月28日(月)～8月28日(木)にかけて、市内の8つの小学校において、本年度パソコンが新規導入された学校の先生を対象に、イントラパケツツなど各種ソフトの講習会を行いました。実際に操作する活動を通して、こうしたソフトの学校での利用の仕方をつける有意義な講習会となりました。

・ネットワーク管理者講習会

8月19日(火)・21日(木)・22日(金)
於 福祉会館・美合小学校
市内各小中学校から、担当の先生1名が参加して行われました。ネットワークに関する基礎的な知識を身につけ、校内LAN管理に役立つ講習会となりました。

第41回東海北陸地方放送研究大会 第35回愛知県放送教育特別研究会

が開催されました。

8月20日(水)愛知県中小企業センターにおいて、「21世紀に躍動する新しい放送教育のあり方」を追究しよう」を研究主題に行われました。大阪市立大学大学院の木原先生の講演の後、午後からは7つの部会に分かれ実践事例報告や協議が行われました。

第 部会「放送番組活用部会」では、竜海中学校教頭・内田義和先生が助言者として参加されました。3本の提案に対して放送番組と他のメディアとの融合、実験の大切さについて助



「レッツ・トライ」

より工夫した作品作り

生徒がフォントを加工して作ったオリジナルの文字や、スキヤナで読み込んだ図形などを、自在にカットイングしてくれる機器である『STIKA SX-8』や、専用ソフト『Dr.STIKA PLUS』（いずれもRoland社製品）を紹介する。

本校の技術科の授業では、木材とアクリル板を利用したオリジナル整理箱の製作を行っている。作品の形ができて上がった授業の後半には、パソコン室で『Dr.STIKA PLUS』を利用し、オリジナルのロゴを作成する。作成したロゴを『STIKA SX-8』でカッティングし、作品のアクリル部に貼り付けて整理箱が完成する。

生徒は、製作活動にパソコンも取り入れることで、「ものづくり」の楽しさをさらに深め、自分で製作したオリジナルのロゴを貼り付けることで、より愛着のある作品を仕上げる事ができた。中には、貼り付けたカッティングシートの上からカラーペイントなどを吹き付け塗装し、ロゴの部分をはがすことで、PET板の透明である特徴を生かした工夫ある作品が仕上がった。

技術科に限らず、美術科、学校行事など、様々な場面で利用できる有効なアイテムである。

（学習情報主任 葵中 河澄 崇）



ライブブリーだよ

「岡崎市自作視聴覚教材コンクール」

ふるさと岡崎

メディア・コンクールのご案内

このコンクールは次のことを主な目的として実施いたします。

- ・ 小中学校、社会教育団体等で活用する地域教材を制作し、視聴覚ライブラリーをセンターとして学習の素材データベースを構築する。
 - ・ 学校教育、生涯学習の分野で自作教材の制作を奨励し、製作技術の向上を図る。
- ふるさとに参加下さい。
- 作品募集要項**

1. 応募上の留意点

作品は、学校教育又は生涯学習の学習教材とし、応募者の自作であること。
作品の長さは、録画メディアの場合に限り、20分以内とする。
作品は、放送局及びプロダクションの援助を受けず、又は販売を業としない者が制作したものであること。
取材・撮影対象の許諾、BGM・効果音・写真の複製は、制作者において著作権をすべてクリアし、学習教材として配布できるもの。
他のコンクール等に未発表の作品であること。
優秀作品は、可能な限り複製し、岡崎市視聴覚ライブラリーの教材として、保管するとともに、視聴覚教材として

貸し出し、ネットワーク配信にて公開する。また、CATVミクス「教育チャンネル^{12ch}」で放送する。

優秀作品は、愛知県自作視聴覚教材コンクール（平成16年1月）への出品も行う。

2. 応募点数

作品の応募点数制限はなし。

3. 応募方法

・ 作品は封筒に入れ、「応募票」（様式1）を1部同封すること。

・ 学校教育部門は、「学校教育部門」（様式2）を1部同封すること。

・ 生涯学習部門は、「生涯学習部門」（様式3）を1部同封すること。

・ ショートコンテンツ部門は、「ショートコンテンツ部門」（様式4）を1部同封すること。

4. 審査結果の発表及び表彰

審査発表は、平成16年2月初旬（予定）
表彰式は、平成16年2月下旬（予定）

5. 募集期間

平成15年12月1日～20日

6. 募集部門

学校教育部門
生涯学習部門
ショートコンテンツ部門

7. 応募先

岡崎市視聴覚ライブラリー（OAVL）
〒444 8601

岡崎市菅生町一丁目3番地1